



# 学校だより

(4月号)平成30年4月9日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) に向かって ともに学びあう学校
- ・すすんで勉強する子
  - ・自分からあいさつのできる子
  - ・仲よくたすけあう子
  - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 ・「学校のきまり」を守ろう

## あたたかい春

校長 河井 尚

この4月1日に、清水 肇校長先生の後任として、本校の第15代校長として着任いたしました「河井 尚 (かわい たかし)」と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年も桜の季節を迎えました。初めて新開小学校を訪れた時、土手の桜が見事に咲き誇り、子ども達に「がんばれ」とエールを送ってくれているように感じました。新開小学校では、新1年生68名を含め、児童数369名で平成30年度がスタートしました。

今年度も「夢に向かって ともに学びあう学校」を教育目標に決めました。めざす児童像「すすんで勉強する子」「自分からあいさつのできる子」「仲よくたすけあう子」「じょうぶな子」も継続していきます。

学校はたくさんの人とともに生活する場です。児童、教職員はもちろんのこと、保護者、地域の方々等、本当に多くの人との関わりの中で支え合いながら生活しています。人と人とがともに生活するとき大切なのが人への「あたたかさ」です。思いやりといってもいいかもしれません。「相手の言うことをよく聴いてあげる」「相手の立場になって考える」「ひとりである子にそっと声をかけてあげる」そんな「あたたかさ」です。壁にぶつかって困っている人や悲しい思いをしている人が周りの人の「あたたかさ」を感じ、少しでも元気になれるようなあたたかい新開小学校をみなさんとともにつくっていきたいです。

学校教育目標の実現に向けて、教職員一同心を合わせて取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、ご協力いただくところが多々あると思います。これからも一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくられていない。

このため、助けあう、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。

助け合うという気持ちや行動のもとは、いたわりという感情である。

他人の痛みを感じることもいい。

やさしさと言いかえてもいい。

「いたわり」「他人の痛みを感じること」「やさしさ」

みな似たようなことばである。

この三つの言葉は、もともと一つの根から出ているのである。

根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身につけねばならないのである。

その訓練とは、簡単なことである。

例えば、友達がころぶ。ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、その都度自分中でつくりあげていきさえすればいい。(司馬遼太郎『二十一世紀に生きる君たちへ』より)